

2012年3月期 第2四半期決算説明会



2011年11月

株式会社DNAチップ研究所

DNA Chip Research Inc.

<http://www.dna-chip.co.jp>

I. 第2四半期累計決算概要及び2012年	
3月期計画	3
1. 決算サマリー	
2. 業績推移	
3. 事業区分別売上高実推	
4. 第2四半期累計業績詳細	
5. 具体的推進プランの達成状況	
6. 2012年3月期業績計画	
7. 2012年3月期計画値の詳細	
8. 粗利率、研究受託事業比率の推移	
II. 2012年3月期業績改善施策	12
1. 業績改善プラン	
2. 具体的推進プラン	
3. 事業別売上比率	
III. 健康クリニック事業の展開について	16



I . 第2四半期累計決算概要及び 2012年3月期計画

I-1. 決算サマリー

	前第2 四半期累計	当第2四半期累計			対前年度比
		(予想値) (注1)	(実推)	比	
売上高 (千円)	150,467	—	94,661	—	63%
営業利益 (千円)	△159,376	—	△147,919	—	—
経常利益 (千円)	△159,264	—	△147,894	—	—
特別損失 (千円) (注2)	2,169	—	586	—	—
当期純利益 (千円)	△161,890	—	△148,956	—	—
研究開発投資 (千円) (注3)	158,544	—	125,483	—	79%
総資産 (千円)	741,738	—	515,413	—	69%
純資産 (千円)	624,627	—	463,348	—	74%
発行済株式の総数 (株)	33,897	—	33,897	—	100%
一株あたり純資産額 (円)	18,427	—	13,669	—	74%
一株あたり当期純利益 (円)	△4,776	—	△4,394	—	—
営業利益率 (%)	△105.8	—	△156.2	—	—
自己資本比率 (%) (注4)	84.2	—	89.9	—	107%

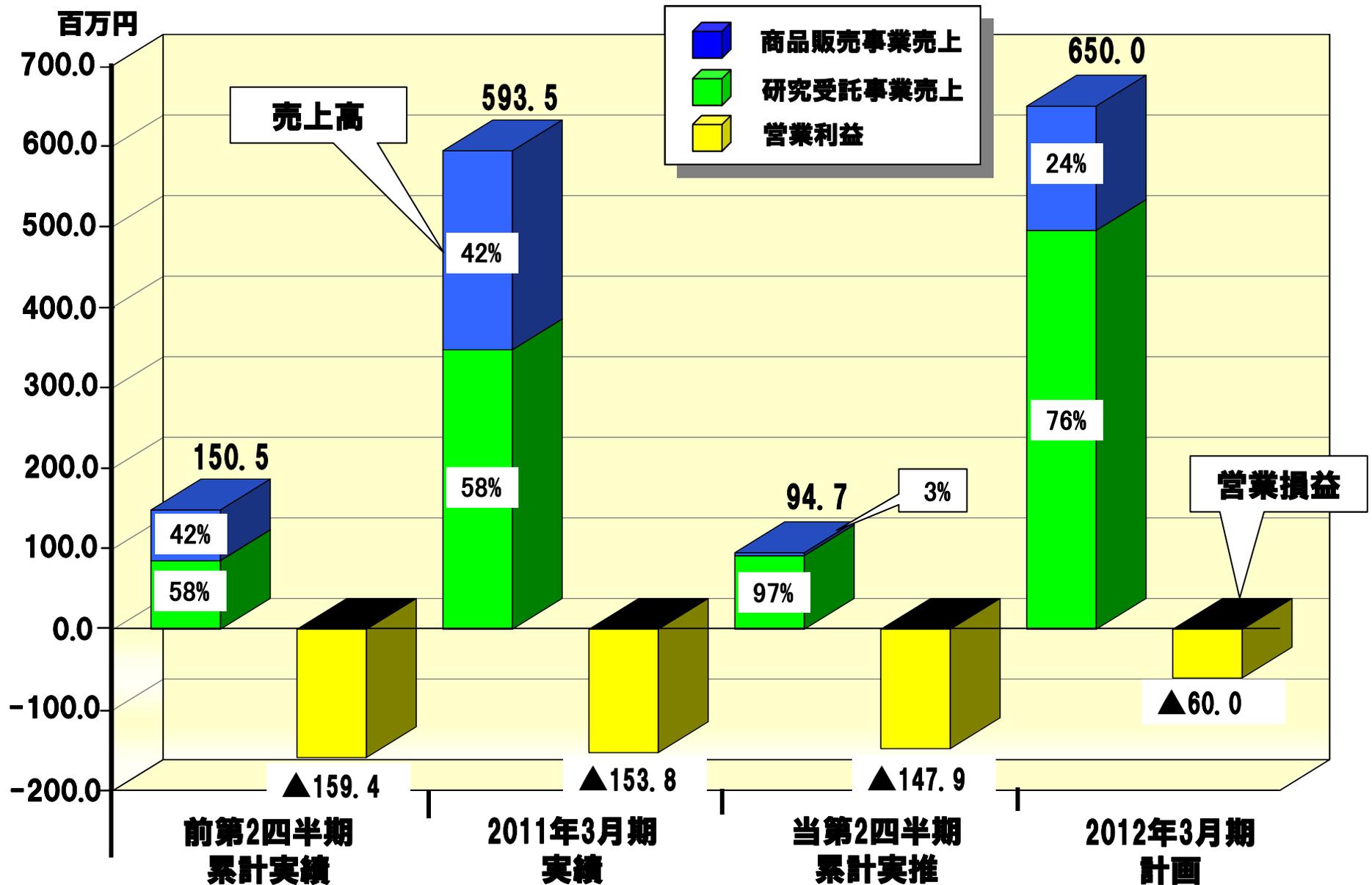
(注1) 2012年3月期において、第2四半期累計期間の業績予想値は公表していない。

(注2) 特別損失の内訳は、投資有価証券評価損530千円他である。

(注3) 研究開発投資が前第2四半期より減少したのは、今年度NEDO公募(マッチング)が1件完了したことによる。

(注4) 自己資本比率も高く、財務状況的に問題はない。

I-2. 業績推移



I-3. 事業区分別売上高実推



株式会社DNAチップ研究所

(金額単位:百万円)

項目	前第2四半期		当第2四半期累計			対前年 比(%)	対予算 比(%)	備考
	売上高	比率	売上高	比率	予算			
研究受託 事業	公募関連	3.6	2%	0	—	—		(説明1)
	一般(受託解析)	66.9	44%	77.4	82%	116%		注残: 30
	ゲノム医学解析	14.1	9%	2.8	3%	20%		
	診断サービス	2.8	2%	11.7	12%	418%		
計	87.4	58%	91.9	97%	105%			
商品販売 事業	汎用チップ・試薬	4.7	3%	2.1	2%	45%		(説明2)
	MammaPrint	1.0	1%	0.7	1%	70%		注残: 0.3
	機器・システム	57.3	38%	0	—	—		
	計	63.1	42%	2.8	3%	4%		
合計	150.5	100%	94.7	100%	63%			

売上高が94.7百万円と、対前年度比63%と非常に低い値となったが、研究受託事業に限ると対前年度比105%の仕上がりであり、この結果営業損失は前年度より改善された。

【研究受託事業】(説明1)

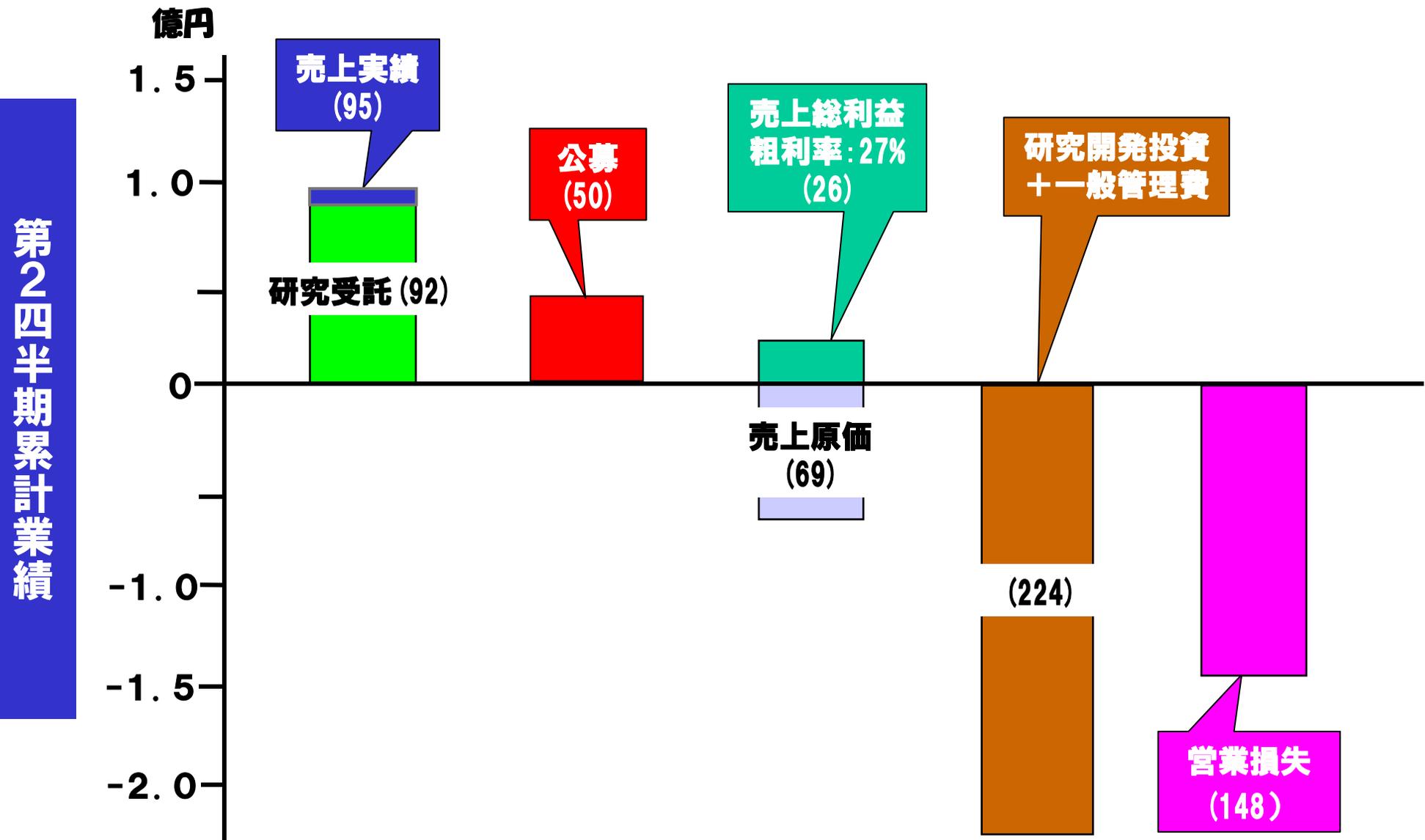
構成比率の高い受託解析と診断の売上が前年度比では伸びているが、ゲノム医学解析事業においては、共同研究先の大学、研究機関における科学研究費補助金の削減の影響により、受注が大きく落ち込んだ。また、受注が第2四半期後半に集中したことにより、第2四半期末までに作業が完了せず注残が発生した。

【商品販売事業—汎用チップ・試薬】(説明2)

粗利率の低い機器・システムの受注を止め、ハイブリ先生等自社商品の販売に注力した。その結果、対前年度値比4%と低調な実績となった。

I-4. 第2四半期累計業績詳細

- 1. 商品販売事業が対前年度比4%と大幅減収だったため、売上高は対前年度比63%と低調
- 2. 売上高の97%を研究受託事業が占めたため、粗利率は27%と対前年度比7%向上



I-5. 具体的推進プランの達成状況

1. 研究受託事業メニューの充実

No	具体的推進プラン	第2四半期累計達成状況
1	リピート顧客フォロー充実及び全社員営業活動に注力	定期的な情報伝達の実施、受注の約60%がリピート顧客
2	大型研究受託案件の強化：－食品・製薬系をターゲットとした提案型研究受託獲得－	大型案件の受注実績は低調。但し現在提案継続中の案件は複数あり、下期受注確保に向け推進中
3	新規受託メニューの充実：－PCR受託、次世代シーケンス受託への展開－	・WaferGen社SmartChip受託 → 4サイトから受注 ・次世代シーケンス → 第3四半期以降サービス本格化
4	ゲノム医学解析受託推進：－MLPA (Multiplex Ligation-dependent Probe Amplification) 法の導入－	MLPA導入準備中。第3四半期以降導入本格化

2. 診断事業の推進

No	具体的推進プラン	第2四半期累計達成状況
1	リウマチ総合診断支援サービスの拡販： －提携クリニック充実－	提携契約締結クリニック2サイトから受注
2	リウマチ多薬剤効果判定への研究開発集中	9月から多薬剤効果(インフリキシマブ、エタネルセプト、トリスマブ) 予測判定のαテスト開始
3	新規臨床データベース事業の推進：－iCIS-crdb、iPadソフトウェア・パッケージビジネスの展開－	・大手製薬会社から、データベースの追加機能受注 ・iRIS (iPadソフトウェア・パッケージ) 受注 → 5パッケージ
4	研究開発から事業化へ加速：－診断マーカー、発現プロファイルデータなどのビジネス化－	新たなビジネス・メニューの拡大のため研究開発推進中

I-6. 2012年3月期業績計画

項 目	2011年3月期 実績	2012年3月期 計画	対前年度比
売上高(千円)	593,597	650,000	110%
営業利益(千円)	△153,765	△60,000	—
営業利益率(%)	—	—	—
経常利益(千円)	△152,066	△60,000	—
経常利益率(%)	—	—	—
当期純利益(千円)	△155,185	△61,000	—
研究開発投資(千円)	278,168	175,055	63%
設備投資(千円)	9,892	20,000	202%

(対前年度比較)

- 売上高** : **研究受託事業** (347百万円 → 495百万円)
 - (1)アジレント受託解析 : 前年度売上実績比20%アップ
 - (2)PCR、次世代シーケンス等の解析 : 新規メニューによる受注確保
 - (3)ゲノム医学CNV解析 : 解析効率向上による受注拡大
 - (4)リウマチ総合診断支援サービス : リウマチ関連ビジネスの拡大
- 商品販売事業** (247百万円 → 155百万円)
 - (1)機器販売 : SmartChip装置販売強化
 - (2)ハイブリ先生 : 100キット以上販売
- 営業利益** : 受託解析サービス売上増加(売上高比率:58% → 76%)による人件費等の固定費回収増
粗利率の改善(粗利率:23% → 34%)
- 研究開発投資** : 【2012年3月期主な研究開発投資内容】
(1)リウマチ多薬剤効果判定エンハンス

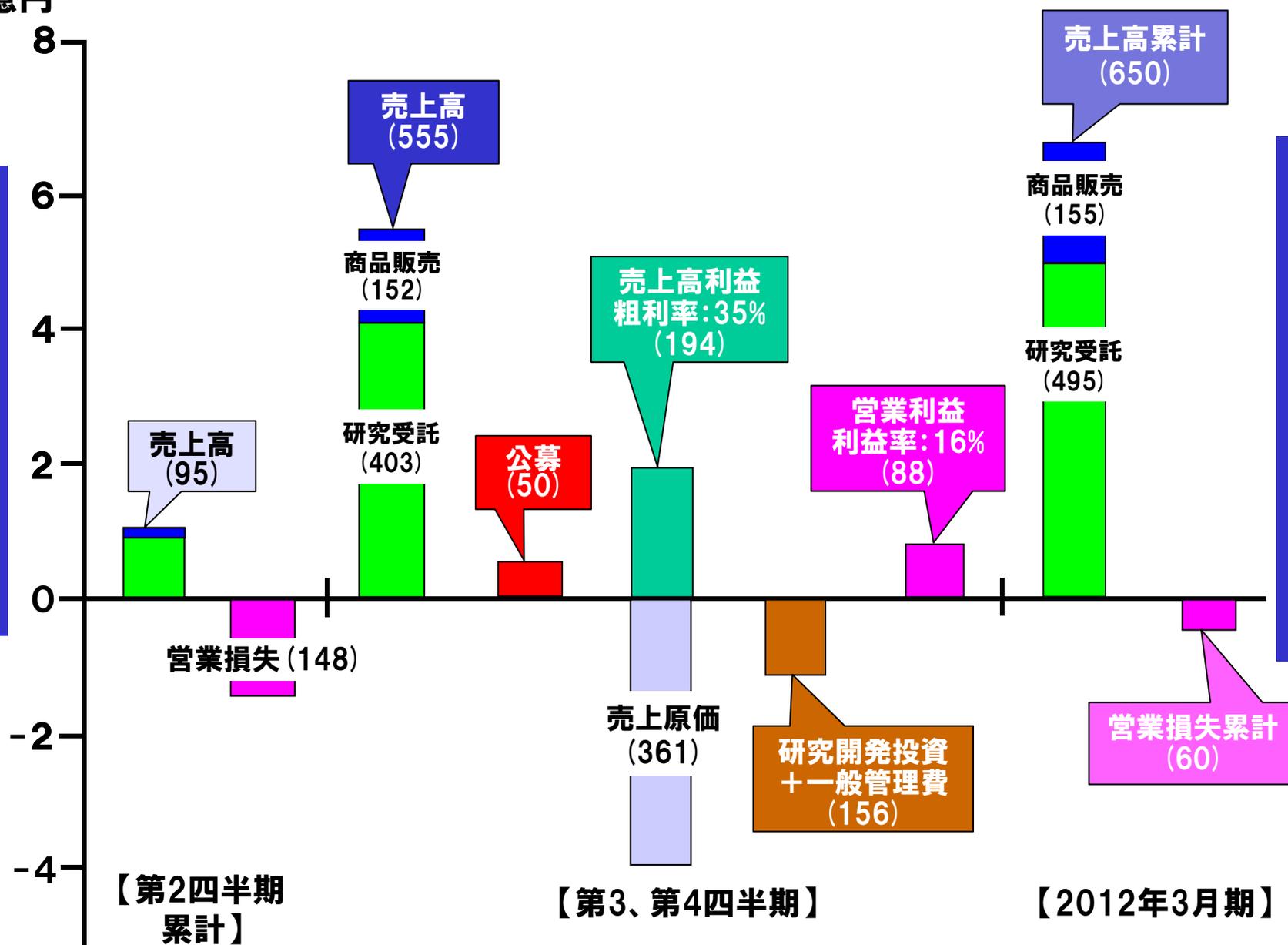
I-7. 2012年3月期計画値の詳細



- 1. 研究受託事業(受託サービス、診断)売上増による収益構造の改善
- 2. 2012年3月期第3、第4四半期累計営業損益は黒字を予算化

億円

2012年3月期

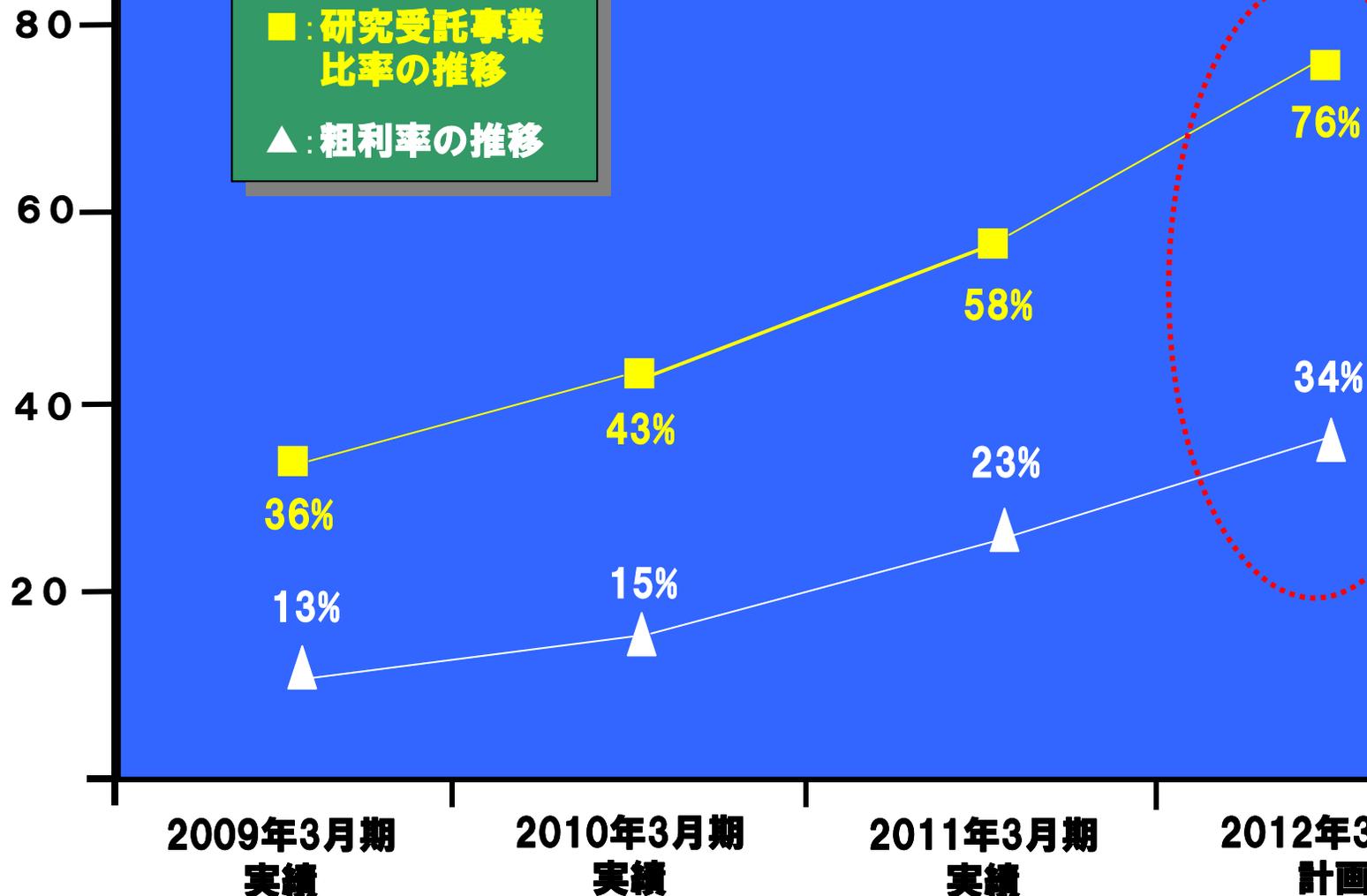


研究受託事業の売上比率増による粗利率の改善
 診断事業関連の受注拡大による研究開発投資額の減少



粗利率、研究受託事業の比率

(%)



【 研究受託事業比率、粗利率向上の理由 】

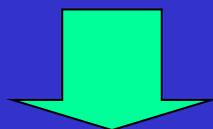
- (1) 売上高に占める研究受託事業の比率が年々増加(販社ビジネスから自社製品ビジネスへの転換)
- (2) 研究受託事業比率のアップと作業効率の改善により粗利率が向上

Ⅱ. 2012年3月期業績改善施策

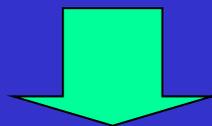
「業績改善」推進プラン

研究開発から事業化へ

- I. 研究受託事業メニューの充実
- II. 診断事業強化



収益構造の改革



業績改善(2013年3月期黒字化目標)

1. 研究受託事業メニュー充実

- リピート顧客フォローの充実及び全社員営業活動に注力
- 大型研究受託案件の強化 – 食品・製薬系をターゲットとした提案型研究受託獲得 –
- 新規受託メニューの充実 – PCR受託、次世代シーケンス受託への展開 –
- ゲノム医学解析受託推進 – 新技術導入と情報解析の強化 –

2. 診断事業強化

- リウマチ総合診断支援サービス拡販 – 提携クリニック充実 –
- リウマチ多剤効果判定への研究開発集中
 - インフリキシマブ(開発完了、現在販売中)
 - エタネルセプト(2011年末開発完了)
 - トシリズマブ(2011年末開発完了)
 - アダリムマブ(2012年上期開発完了)
 - アバタセプト(2012年上期開発完了)

2012年上期多剤(3剤)効果判定β テスト開始
2012年下期多剤(5剤)効果判定β テスト開始
- 新規臨床データベース事業の推進 – iCIS-crdb、iPadソフトウェア・パッケージビジネスの展開 –
- 研究開発から事業化へ加速 – 診断マーカー、発現プロファイルデータなどのビジネス化 –

II-3. 事業別売上比率

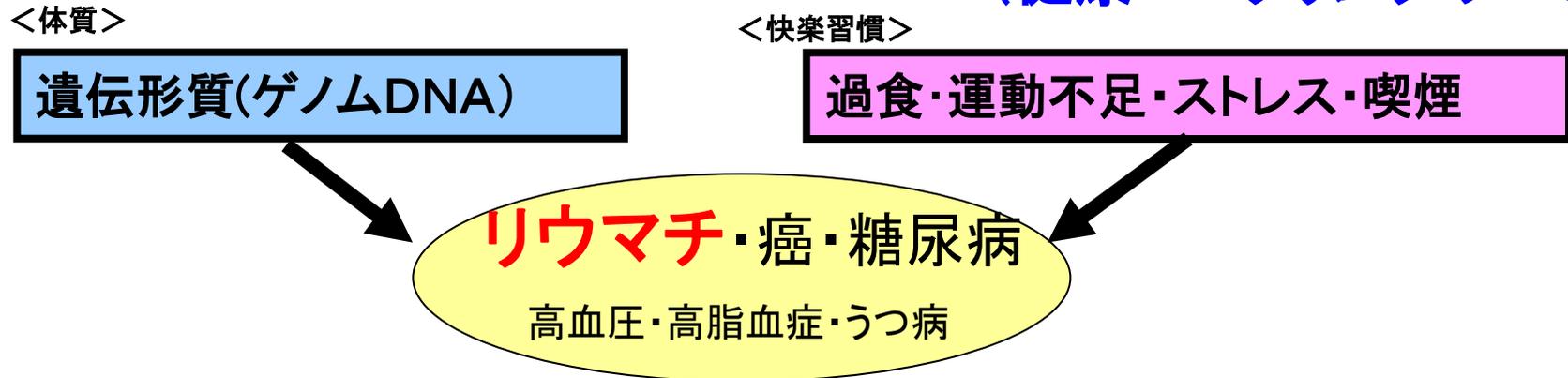


事業区分		製品説明	詳細内容	比率
研究受託事業 (73%)	研究受託	公募	公的機関へのプロジェクト提案	—
	受託解析サービス	・アジレント受託解析	・メチレーションアレイ実験解析サービス ・miRNA発現実験解析サービス ・遺伝子発現実験解析サービス ・アレイCGH実験解析サービス等各種サービス	61%
		・高性能RT-PCR、次世代シーケンサー等の受託解析	・WaferGen社SmartChip受託サービスなど ・次世代シーケンサーを用いた遺伝子発現解析、メチレーション解析等 ・運動疲労・精神疲労チェックなどの研究提案	
	ゲノム医学解析	・CNV解析 ・SNP解析	・アジレントチップを用いた研究受託解析受注 ・MLPA法を用いたCNV解析	2%
	診断事業	・リウマチ診断 ・診断関連ビジネス	・リウマチ多薬剤効果予測 ・臨床DB/iPadソフトウェア・パッケージ事業 ・診断マーカー事業	10%
商品販売事業 (27%)	汎用チップ販売	チップ／試薬販売	・ハイブリ先生(学校向け遺伝子実験教材) ・WaferGen用試薬	1%
	診断ツール販売	MammaPrint	・乳癌のRNAによる予後予測診断ツール	1%
	機器・ソフトウェア	バイオ機器、ソフト	・SmartChip装置など	10%
	高速シーケンサー関連販売	次世代シーケンサーデータ解析装置等	・次世代シーケンサーの情報解析用PCシステム販売など	15%



III. 健康クリニック事業の展開について

①. 未病社会をめざした診断ツールの開発: 健康クリニック事業 (健康モニタリングサービス)



個人の体質・状態に合わせた投薬・治療が必要
病気になる前の超早期診断(モニタリング)技術が必要

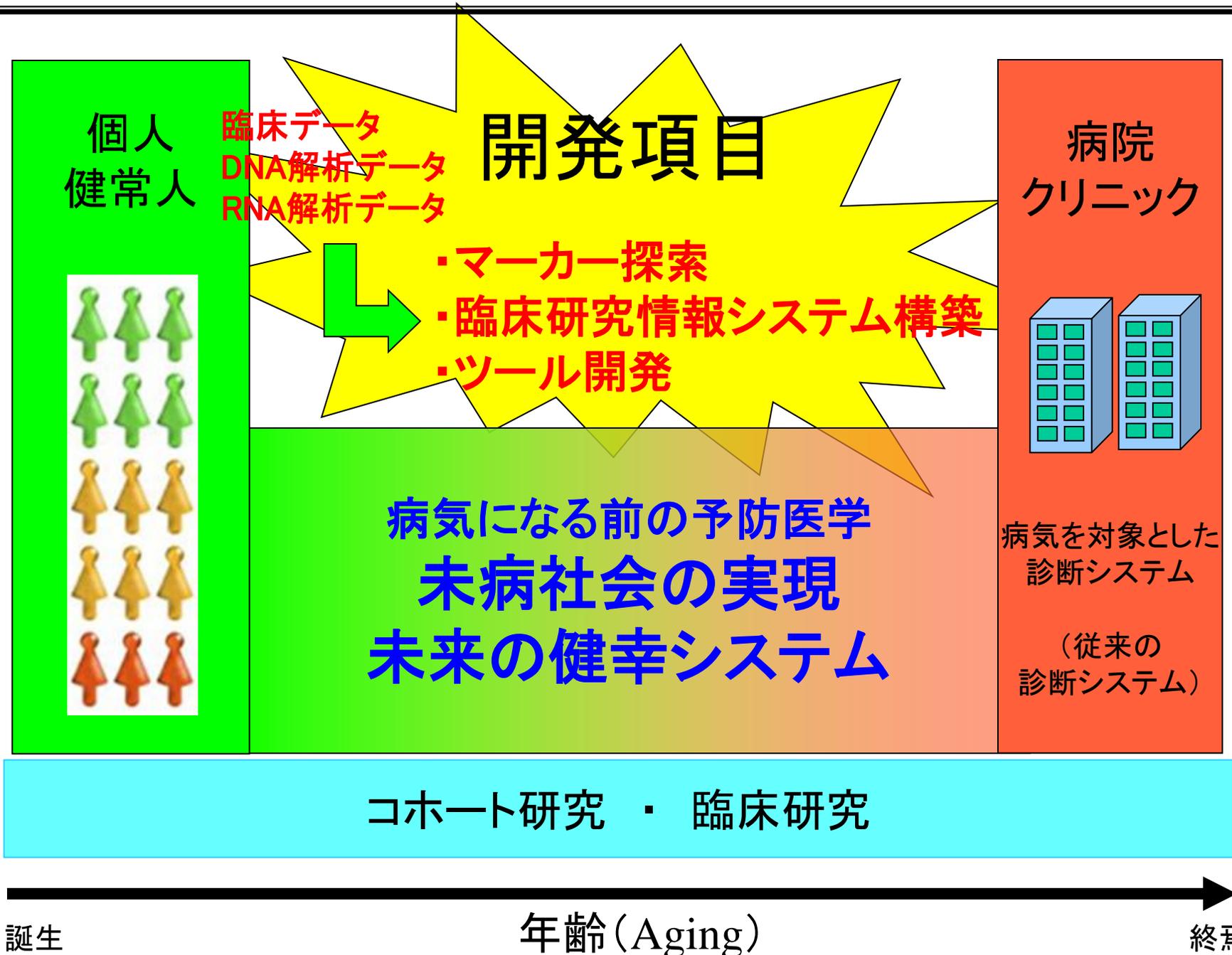
②. 遺伝子解析技術を応用した「診断支援サービス事業」メニューの充実

1. 診断マーカー開発

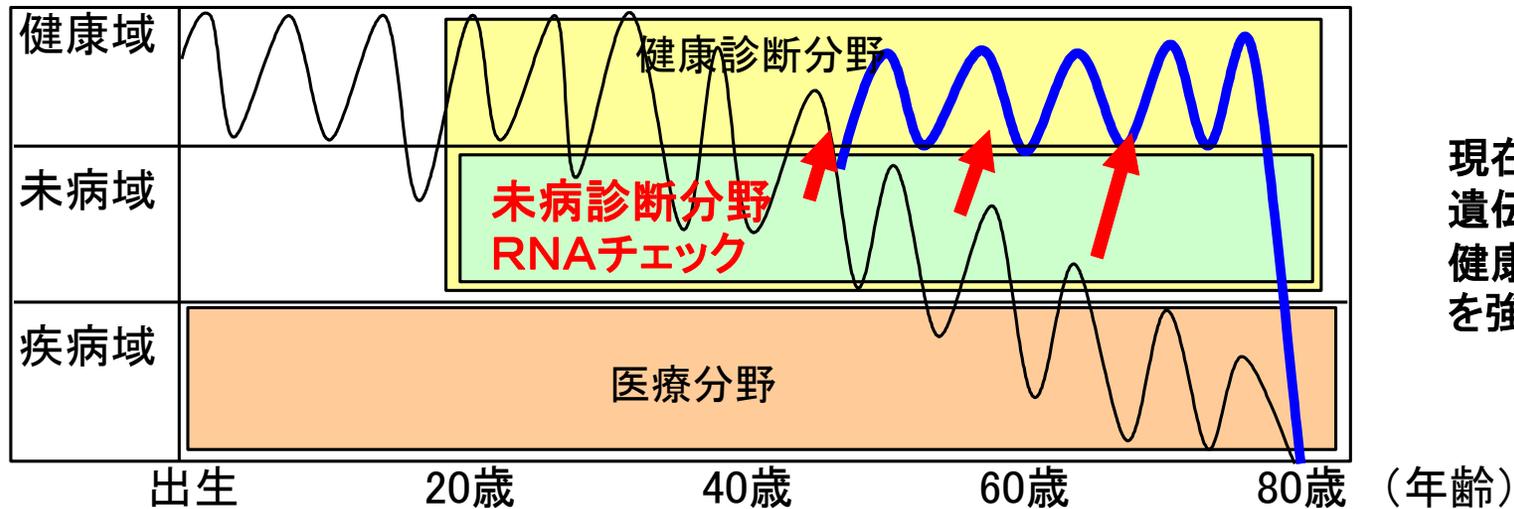
薬剤効果判定 (リウマチ)、転移・再発予後予測 (乳癌・大腸癌・神経膠腫)

2. 創薬ターゲット探索

3. 臨床研究情報管理支援サービス (iCIS)

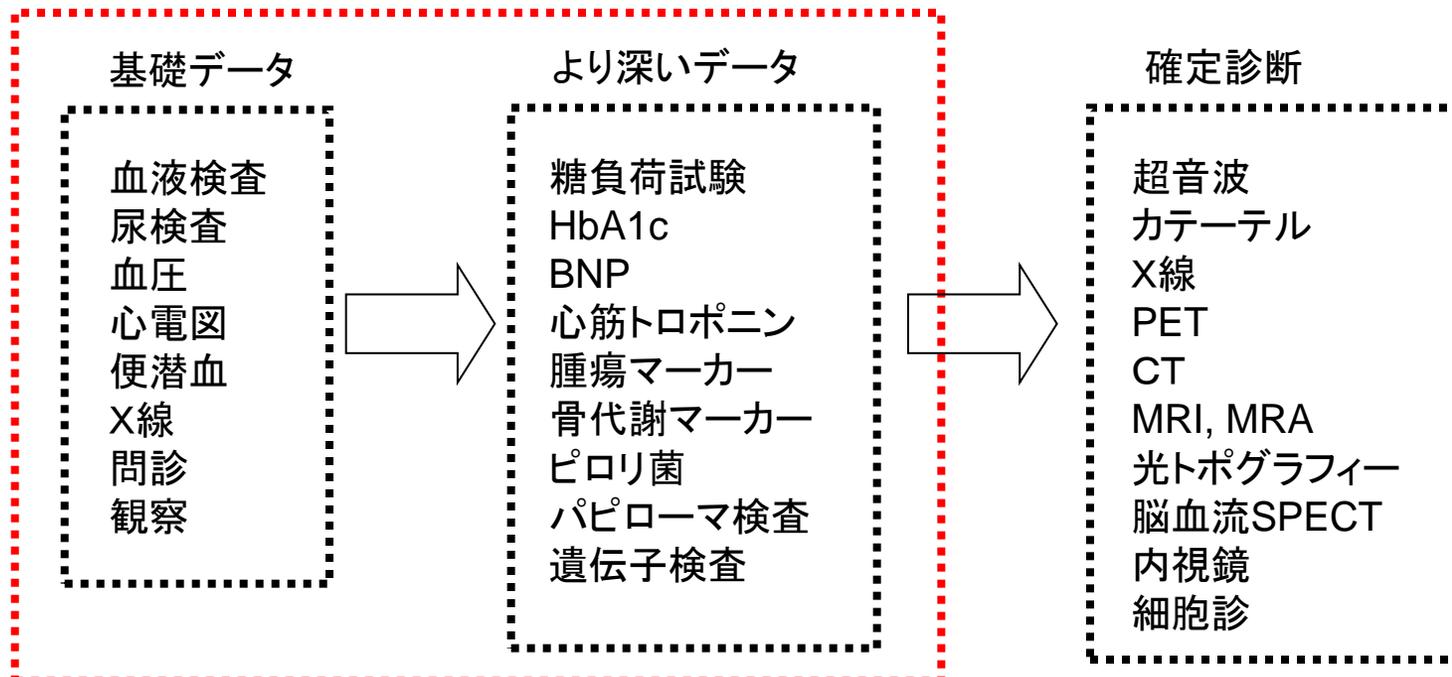


III-3. RNAチェック (発現プロファイル)



現在の健康診断に
遺伝子項目を追加し、
健康モニタリング機能を
強化

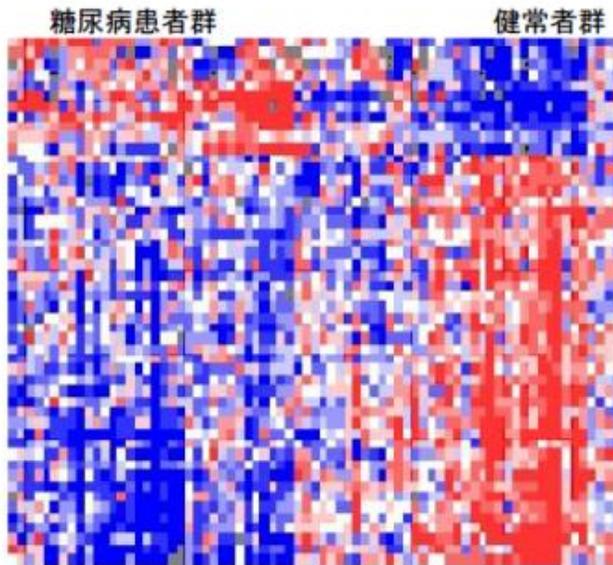
RNAチェック(血液細胞遺伝子発現マーカー検査)



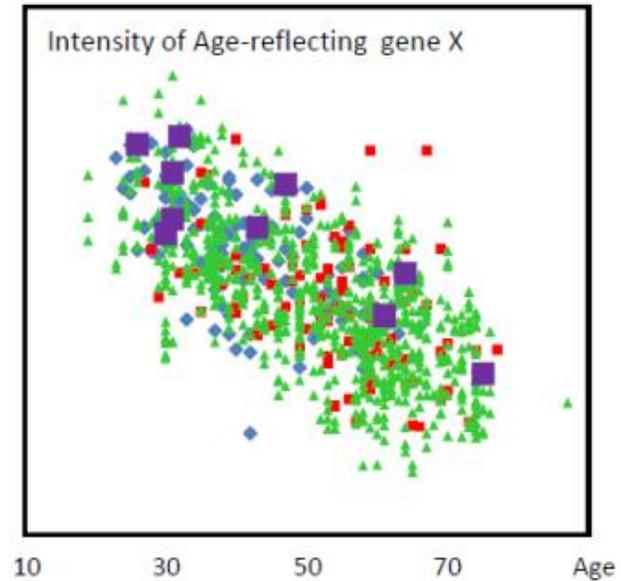
III-4. 体調を反映する末梢血RNA Profile



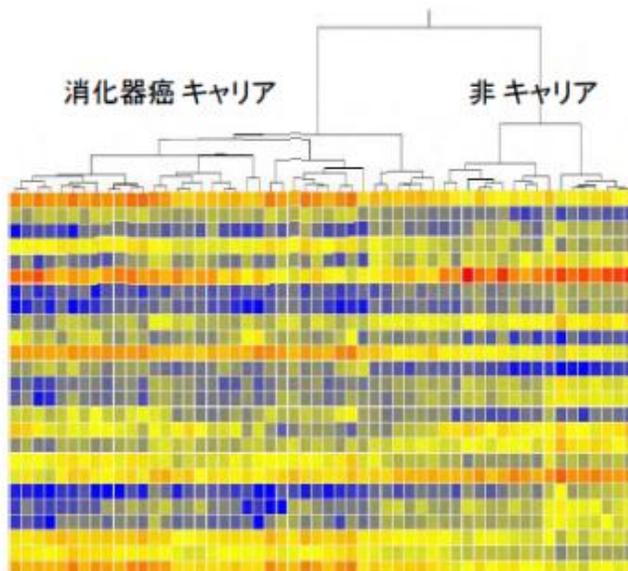
糖尿病患者と健常者の判別



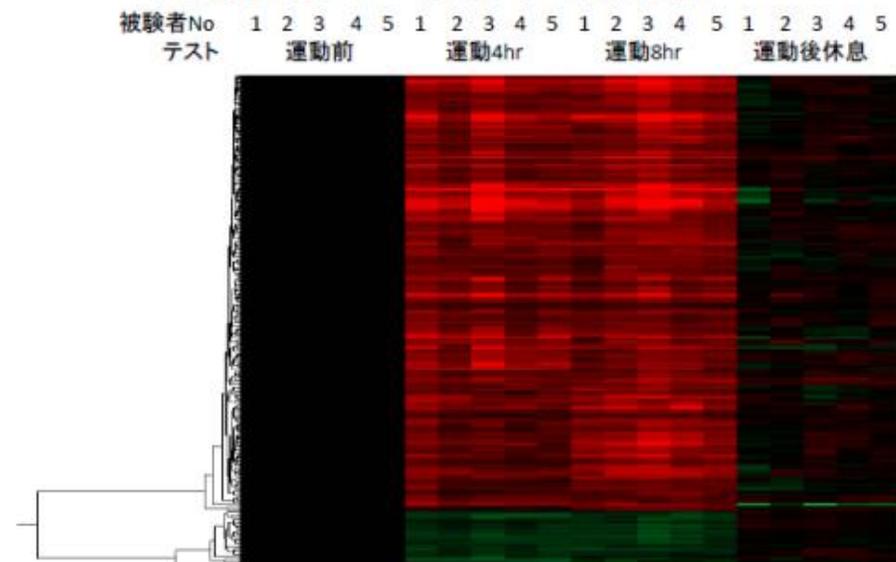
年齢依存的に発現の変化する遺伝子



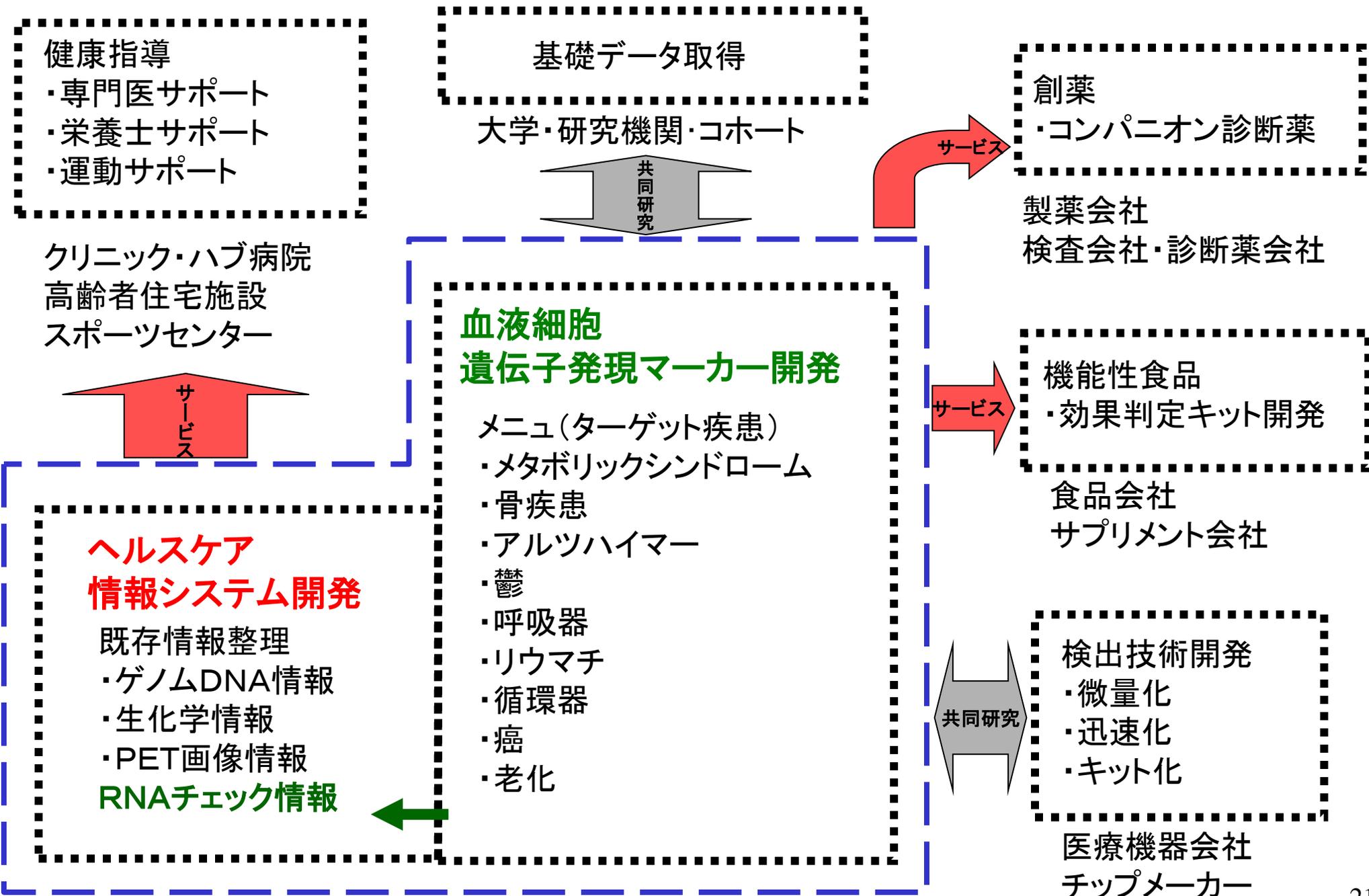
消化器癌キャリアと非キャリア



運動依存的に変化する遺伝子



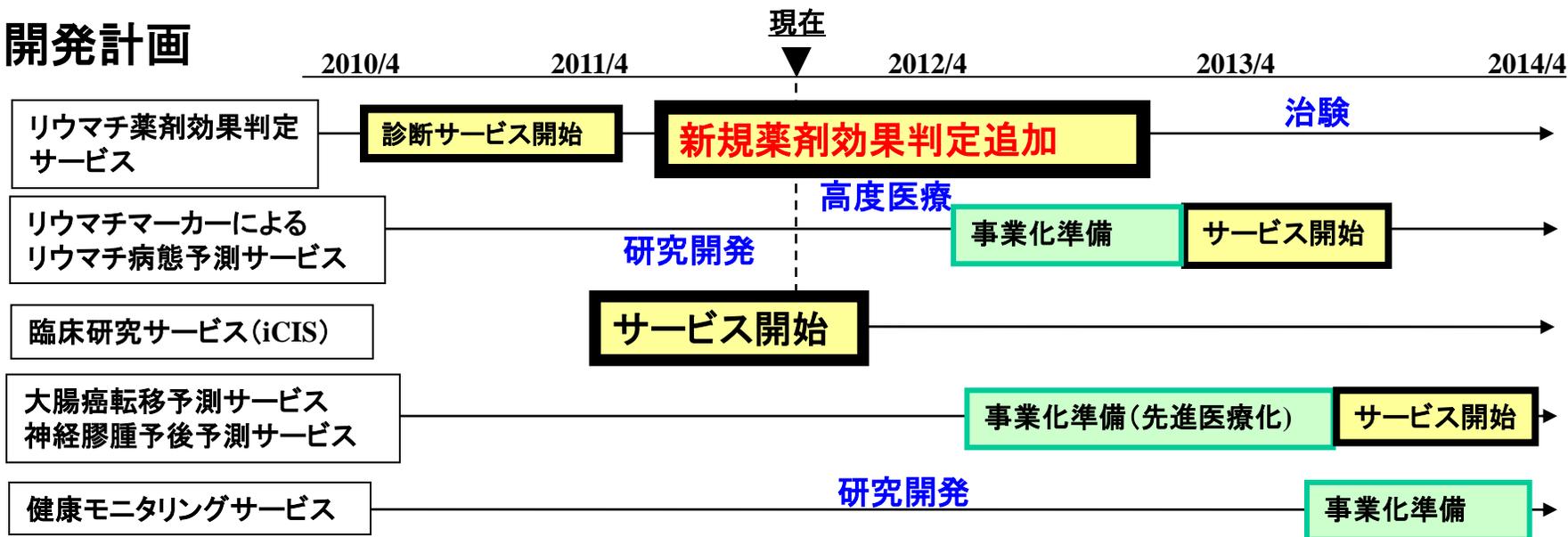
III-5. 遺伝子情報を主軸とした展開



III-6. 診断支援サービス事業計画



I. 開発計画



II. 販売計画(診断全体):

